

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 SMASPO箕面校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	広いスペースと高い天井のため、十分に体を動かせるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	ご利用者様の人数や状況によって職員の配置を考慮しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	ご利用者様の安心安全を守りながら、療育に取り組んで頂けるように心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	掃除やアルコール消毒の徹底に努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	打ち合わせの時間を取るようにしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		保護者様の評価を受け止め、職員間で話し合いをもち、改善できるように努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員のスキル向上のため、定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	保護者様のニーズやご意見をもち、職員間で情報共有や分析を行い、計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		今後も保護者様と話し合いながら、支援内容を設定していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	一人ひとりの計画沿った支援ができるように取り組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	子どもの様子や日報を見て話し合いながら、日々のプログラムに取り組めるようにしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎月のテーマにそってプログラムを変えたり、組み合わせも考えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	ご利用者様の様子や保護者様の希望によって柔軟な対応が出来るようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前にプログラム内容やご利用者の情報共有等の打ち合わせをしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	当日や翌日には振り返りを行い、情報を共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日報に気付いた点などを記入し、情報共有に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	毎月職員間でモニタリングを行い、支援の振り返りや目標設定の検証も行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	自治体連携を取れるようにしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保護者様のご要望を伺いながら、行っています。	今後も保護者様のご要望を伺いながら、それぞれの機関との連携を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	毎月パルシューレの講師を呼び、研修や振り返りを行っています。	引き続き研修や振り返りを行い、情報を共有し、職員のスキル向上に努めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後はそのような機会が作れるように検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		今後はそのような機会が作れるように検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時にプログラムの内容や様子を伝えたり、ご家庭での様子を聞くなどの情報共有をしています。	引き続きその日の様子を伝えたり、面談を実施し、情報共有に努めてまいります。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	理学療法士を呼んで、ペアトレを行うようにしています。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約の際にわかりやすく丁寧な説明を心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	0%	0%	支援内容を丁寧に説明したうえで、保護者様の同意を得るようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様のご希望を伺い、懇談を実施しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者様のご要望を伺いながら、保護者同士の連携が取れるような機会をイベントなどを通して提供できるようにしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	個人懇談等を実施する中で要望に応えられるように、連携し、迅速な対応に努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	お子さまのご様子がかかるようにレポート等をお渡しするようにしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	鍵付きのロッカーを使って厳重に保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	ご家庭の状況に合わせて連絡手段や時間帯を考えて確実に情報の伝達がいきわたるように努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		今後は地域の方にも参加して頂けるようなイベントができるように、検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各種のマニュアルを作成するとともに、実践するようにしています。	マニュアルの作成や確認、訓練の実施等はしているが、今後は保護者様に周知ができるように検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	消防訓練や災害訓練等を行うようにしています。	定期的に訓練を行うようにしていますが、今後は実践日や実践内容を保護者様に決まり次第説明したり、周知ができるように検討していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約の際にお子さまの注意すべき点等を十分に確認し、徹底するように努めています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	食事を提供することは無いですが、契約時に保護者様にアレルギーについて確認するようにしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事例の作成後、話し合いを行い共有をして、再発防止に努めています。	引き続き事例の共有をしながら、再発防止の意識を高めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に2回以上の人権や虐待についての研修に参加しています。	引き続き研修や振り返りを行い、意識を高めることに努めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	契約時に保護者様に必ず説明したうえで、同意書を頂くようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。